



ねんしょうだより

令和6年6月6日
川口市立舟戸幼稚園
年少組

梅雨空が気になる時期になりました。晴れた日には、子供たちは園庭での遊びを楽しみにし、太陽の日差しを満喫しながら遊んでいます。入園してから2ヶ月が経ち、子供たちは好きな遊びに取り組んだり、友達と一緒に遊んだりするなど、幼稚園生活を喜んで過ごしています。それぞれの気持ちに寄り添った丁寧なかかわりを心がけ、一人一人が安心して過ごせるように配慮していきます。

「遊園地だ」

園生活の仕方や流れが分り、自分から好きな遊びに取り組むようになりました。遊びの場も保育室、にじの広場（玄関前の広場）、園庭と広がりいろいろな遊びに興味をもって取り組むようになりました。保育室では、ブロックで線路や列車をつくり、走らせたり、友達がつくった列車と連結させたりして楽しんでいます。ケーキやご馳走をつくってケーキ屋さんやレストランごっこでは、「おいしい」「次はイチゴケーキつくろう」「いらっしやいませ」と友達と言葉のやりとりを楽しみながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいます。一人一人の気持ちに寄り添いながら、「楽しい」「またやりたい」という気持ちで楽しく園生活が過ごせるように配慮しています。

また、雨の降った日は、室内でも安全に体を動かして遊べるように玄関前の広場に遊園地をつくって遊んでいます。繰り返し滑り台を滑ったり一本橋に挑戦したりトランポリンで思い切りジャンプをしているうちに、体の使い方も随分と上手になりました。また、ケンステップやマットも組み合わせ、自分達でコースをつくることも楽しんでいます。「お店屋さんも遊園地にだそうよ」とお店屋さんも遊園地の中に広がり、一層楽しい場となりました。それぞれの気持ちに寄り添った丁寧な関わりを心がけ一人一人が安心して過ごせるように配慮しています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『協同性』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

クレヨンで描こう



好きな遊びの中で、大きな紙にクレヨンで絵を描いたことをきっかけに、色々な色に興味をもち始めました。「私のクレヨンあるよ」と自分たちのクレヨンを使って、お絵描きを楽しんでいます。洗濯機のお絵描きでは、色々な色を使って「ぐるぐるぐる」と言いながら、洗濯機の中でお水が回っている様子を描きました。後日「お洗濯したお洋服が出てきたよ」と伝え、「わぁ、可愛い」「私ピンクがいい」と自分の好きな色の洋服を選び、そこに似合う色を使い「素敵な模様を描いたよ」「自分の顔描いたんだ」と、イメージを膨らませながら、色々な色で描いていました。上着ができると、「下のスカートもつくりたい」「ズボンもつくりたい」とつくった上下をつなげて出来上がると、自分がつくった洋服を着る真似をし、みんなの前でファッションショーが始まりました。「みんなに見せたい」と喜んでお友達に自分の洋服を見せ、友達が拍手をしてくれると、大満足な顔をしていました。次の日からは、好きな遊びの中でも自分でクレヨンを持ってきて、友達と絵を描いたり、色を塗ったりすることを楽しむようになりました。クレヨンを大切に使うことを知らせながら、自分が表現したいことをのびのびと表せるように援助したいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『協同性』『社会生活との関わり』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

6・7月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 好きな遊びを通して、気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな素材や用具に触れて、使ったり遊んだりする楽しさを感じる。
- 水の感触や気持ちよさを感じながら、夏ならではの遊びを楽しむ。
- 夏の生活の仕方を知り、自分でできる身のまわりのことを自分でしようとする。

